坂戸市ごみ減量実践モデル地区指定事業

人・まち スリム100 ～1人1日100gのごみ減量～

△△△△地区自治会　実施期間○月○日(□)～○月○日(□)　※3ヶ月間

市では、平成１６年度からのごみ・資源物の分別区分の変更及びごみ・資源物収集袋の導入により、大幅なごみの減量化が図られました。

その結果、東清掃センターの焼却施設を平成１８年度から休止し、効率的な施設運営とランニングコストの削減に努めてまいりました。分別区分の変更から６年目に入り、分別区分の再確認と、燃やせるごみの組成の中で約５０％を占める紙・布類の中に、資源紙となる雑がみも多く含まれているため、この分別を重点に取り組んでいただくことを目的に「ごみ減量実践モデル地区指定事業」を実施いたします。

さかぞうは、市のごみ減量イメージキャラクターです。（坂戸市の地形は、象が鼻を伸ばして座っているように見えます。その発想から象のキャラを採用しました。）

モデル地区って何をするの？

今まで行なってきた、ごみの排出ルールを更に徹底してもらえればいいんだ！
燃やせるごみは出来るだけ減らしてね。

ごみ減量実践モデル地区実践項目

①生ごみの水分をよく切って排出する。
②紙ごみのうち、資源紙（雑がみ）となるものをきちんと分別する。
③プラマークのあるものは、汚れを落として資源プラスチックへ分別する。
④買い物の際は、なるべくレジ袋を受け取らない。

ごみ・資源物の排出量及び一人１日当たりの量

年　度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
ごみ・資源物の量（トン）	36,485	32,170	31,943	32,216	31,335	30,395	29,268
一人１日当たりの量（グラム）	1,015	889	879	883	855	828	793

坂戸市役所　環境部　環境政策課　廃棄物資源担当　☎２８３－１３３１（内線393・394）

雑誌･雑がみの区分一覧表

●雑誌･雑がみ　　５０音順

紙　の　分　類	説　　明
アルミ箔（ラップ）の外箱、芯	外箱は刃をとること。芯はつぶすこと。
カタログ	ホチキスでとめてあるものも含む。
紙製の空き箱（菓子箱など）	
紙ファイル	金属･ビニール類は取り除く。
紙袋	
画用紙	
コピー用紙	くしゃくしゃなもの、手で小さく切ったものも含む。
暦･カレンダー	金具等は取り除く。
雑誌	
ストローの袋(紙製)	
台紙（Ｙシャツ、歯ブラシなど）	
たばこの紙箱（外箱）	なお、銀紙は燃やせるごみ。
ティッシュペーパーの外箱	取り出し口のビニールは、資源プラスチック。
図書、刊行物	
取扱説明書	
ノート	
糊付き紙類	
はがき	ダイレクトメールなど。
パンフレット	
封筒	セロハン窓付はセロハンを取り除く。
普通紙の包装紙	
名刺	
メモ用紙	
わら半紙･更紙	
割り箸の外袋（紙製）	

※折り込み広告は、新聞紙と一緒に排出してください。

※雑がみ整理袋が無い場合は、紙袋や紙箱に入れ、表面に「雑がみ」と表示してください。

※一覧表は一部を掲載しています。詳細は、ごみと資源物分別マニュアルを参照してください。

配布物一覧表

①	燃やせるごみ収集袋（赤色･３０ﾘｯﾄﾙ　３０枚）
②	資源物収集袋（黄色･３０ﾘｯﾄﾙ　３０枚）
③	雑がみ整理袋（3枚）
④	排出状況確認シール（銀色･６０片）

※配布物の追加配布はありません。シールは無くなり次第、貼る必要はありません。

注 意 事 項

① シールは、「燃やせるごみ収集袋」と「資源物収集袋」に貼ってください。
　シールを貼る場所は、下図のとおりです。

② 市が提供した指定袋以外のサイズを利用する場合もシールを貼ってください。

③ 「雑がみ整理袋」は、市が啓発用に作成したもので指定袋ではありません。市販はしておりません。 なお、雑がみ整理袋にはシールを貼る必要はありません。

「燃やせるごみ収集袋」と「資源物収集袋」の印刷のない裏面の中央にお貼りください。